

令和6年度 信学会裾花幼稚園「自己評価および学校〔園〕関係者評価」

1. 園の教育目標

いっぱい遊んで、げんきに挑戦!!

2. 本年度の重点目標

- (1)頭と心と体を使って、自由に伸び伸びと遊ぶ
- (2)友だちの良さに気づいて、協力して活動できる
- (3)やろうときめたことを最後まであきらめずにやり抜く

3. 自己評価

A…十分達成されている

B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない

D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	B
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	B
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	B
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	B
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	B
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	B
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	B
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	B
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	A
保護者・地域住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	A
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	B
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	B

4. 学校関係者評価委員(モニター)からの評価

- ・先生たちで活動の方針を共有しながら、子どもたちの保育にあたっていることを普段の話の様子からもうかがうことができ安心する。今後お願いしたい。
- ・家で幼稚園の様子を聞いたときの話の内容や、家で作っている工作を見ると、幼稚園で楽しんで友だちと遊んでいたり、制作の活動にも寄り添って支援をしてもらっていたりすることがよく分かる。

5. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

- ・園目標は、保護者アンケートからも入園のきっかけとなる裾花幼稚園の特色として受け入れられている。水遊び、泥んこ遊び、雪遊びなど、子どもたちはのびのびと園庭に出て遊んでいる姿がある。園目標達成のために、コーナー保育も取り入れながら、異年齢での関わりも増えてきた。活動の振り返りをして次の活動につなげていく。
- ・園運営に関わって先生方で話し合いをしながら、進めてもらったことが多い。園長のリーダーシップのもと、職員間のコミュニケーションをこれからも大切にしていきたい。子どもたちがのびのびと、より活動をしやすくするための環境整備をしていき、ひきつづき、子どもたちのより良い成長のために努力していく。